

平成 23 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成 22 年 11 月 5 日

上場会社名 日神不動産株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 8881 URL <http://www.nisshinfudosan.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役会長兼社長（氏名） 神山 和郎
 問合せ先責任者（役職名）取締役兼執行役員専務（氏名） 藤岡 重三郎 TEL (03)5360—2011
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 11 月 12 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期の連結業績（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 2 四半期	13,464	△16.3	181	△28.1	162	△30.1	1,517	—
22 年 3 月期第 2 四半期	16,081	27.7	253	—	232	—	117	—

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23 年 3 月期第 2 四半期	64	69	—	—
22 年 3 月期第 2 四半期	5	2	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23 年 3 月期第 2 四半期	54,737		26,355		48.0		1,120	82
22 年 3 月期	43,340		25,075		57.7		1,065	74

（参考）自己資本 23 年 3 月期第 2 四半期 26,287 百万円 22 年 3 月期 24,996 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第 1 四半期		第 2 四半期		第 3 四半期	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22 年 3 月期	—	—	—	—	—	5 00	5 00	—
23 年 3 月期	—	—	—	—	—	5 00	5 00	—
23 年 3 月期（予想）	—	—	—	—	—	5 00	5 00	—

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（％表示は、対前期増減率）

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	41,500	33.9	3,000	237.0	2,900	256.6	4,100	753.6	174	81

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
 新規 一社 () 除外 一社 ()
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 ①会計基準等の改正に伴う変更 : 有
 ②①以外の変更 : 有
 (注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	23,475,630株	22年3月期	23,475,630株
②期末自己株式数	23年3月期2Q	21,786株	22年3月期	21,632株
③期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	23,453,933株	22年3月期2Q	23,454,559株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、6ページ、(3) 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 6
2. その他の情報	P. 6
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 8
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 8
(2) 四半期連結損益計算書	P. 10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 13
(5) セグメント情報	P. 13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、主に新築分譲マンションの販売（304戸）が上期予想（430戸）に達しなかったことにより13,464百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

なお、当期間より中古物件の買取り再販事業等を強化しており、グループ全体の分譲事業は以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間

	分譲戸数（戸）	売上高(百万円)	摘 要
新築分譲	304	7,618	日神不動産株式会社 (土地売上高245百万円を含む)
中古分譲	42	554	日神住宅サポート株式会社 リノベーション
他	11	293	多田建設株式会社他 多田建設株式会社直販分他
計	357	8,466	

利益面では、売上高が13,464百万円にとどまったことにより、売上総利益3,082百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益181百万円（前年同期比28.1%減）となりました。

多田建設株式会社を連結したことによる「負ののれん発生益」1,423百万円を特別利益として計上したことにより、四半期純利益は1,517百万円（前年同期117百万円）となりました。

なお、報告セグメントにて区分した場合の売上高は以下のとおりであります。

① 不動産事業

当社グループの主力事業である分譲マンションの販売は、9月より供給を開始した「日神パレステージ」（ファミリータイプ）の販売は好調だったものの、当第2四半期における販売の中心となっている「日神デュオステージ」（シングル、ディンクスタイル）において市場動向を見極めつつ利益の確保を重視したことにより、販売戸数は304戸にとどまりました。この結果、売上高は7,578百万円、セグメント損失は113百万円となりました。

（日神不動産株式会社の営業状況）

下記の金額には、いずれも消費税等は含まれておりません。

ア. 分譲戸数の推移

期間(月)	平成21年3月期 (平成20年4月～平成21年3月)				平成22年3月期 (平成21年4月～平成22年3月)				平成22年4月以降	
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9
戸数(戸)	111	214	232	352	322	283	220	268	99	205

イ. 完成在庫の推移

	平成19年 3月末	平成20年 3月末	平成21年 3月末	平成22年3月期(平成21年4月～平成22年3月)				平成22年4月以降	
				6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
パレス テージ(戸)	155	345	193	100	97	76	15	6	35
デュオス テージ(戸)	18	266	704	572	521	322	225	197	92
計(戸)	173	611	897	672	618	398	240	203	127

ウ. 未完成在庫(事業支出金)

	平成19年 3月末	平成20年 3月末	平成21年 3月末	平成22年3月期(平成21年4月～平成22年3月)				平成22年4月以降	
				6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
事業支出金 (百万円)	20,774	29,067	10,778	9,988	8,241	8,917	10,491	11,765	13,343

事業支出金は主に土地代および建築代金の一部であります。

平成22年9月末に計上している事業支出金にかかる物件の販売計画は、売上高約40,000百万円、戸数約1,300戸となっております。

エ. 契約状況

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)				当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)			
	期中契約高		期末契約残高		期中契約高		期末契約残高	
	戸数(戸)	金額(千円)	戸数(戸)	金額(千円)	戸数(戸)	金額(千円)	戸数(戸)	金額(千円)
分譲マンション	477	10,790,912	139	3,407,216	323	8,785,757	133	3,893,171

オ. 営業収入の内訳

区分	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
	金額(千円)	金額(千円)
不動産販売事業	13,774,273	7,618,318
不動産賃貸事業	124,302	135,857
その他附帯事業	16,279	18,201
合計	13,914,855	7,772,376

カ. 販売の状況

前第2四半期累計期間における戸数及び金額には、日神管理株式会社への販売分が33戸、616,000千円、当第2四半期累計期間における金額には、多田建設株式会社への土地売上高が245,000千円含まれております。

(a) 物件別販売状況

前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)			当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		
物件名	戸数 (戸)	金額(千円)	物件名	戸数 (戸)	金額(千円)
日神デュオステージ新中野	44	1,251,497	日神パレスステージ 三ノ輪竜泉	22	739,017
日神デュオステージ浅草	40	961,857	日神デュオステージ 浅草三筋	30	719,244
日神デュオステージ 蔵前NEXT	37	943,294	日神パレスステージ八広	24	715,586
日神デュオステージ板橋	32	753,524	日神デュオステージ蔵	29	575,751
その他	452	9,864,098	その他	199	4,868,718
合計	605	13,774,273	合計	304	7,618,318

(b) ブランド別販売状況

ブランド名	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
	戸数(戸)	金額(千円)	戸数(戸)	金額(千円)
日神パレスステージ	130	2,818,462	86	2,474,530
日神デュオステージ	475	10,825,810	218	4,892,276
その他	—	130,000	—	251,510
合計	605	13,774,273	304	7,618,318

(c) 地域別販売状況

地域名	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	
	戸数(戸)	金額(千円)	戸数(戸)	金額(千円)
東京都	479	11,008,991	267	6,594,110
神奈川県	36	931,874	4	124,421
埼玉県	46	834,969	33	648,275
千葉県	44	868,437	—	—
その他	—	130,000	—	251,510
合計	605	13,774,273	304	7,618,318

②不動産管理事業

不動産管理事業は引き続き堅調であり、売上高は1,467百万円、セグメント利益は158百万円となりました。

③賃貸管理事業

賃貸管理事業は、賃貸仲介、賃貸物件の管理受託及び賃貸管理に伴う工事売上等いずれも順調に推移しました。

なお、当第2四半期連結累計期間より、中古物件の買取り再販を強化しており、当該売上高は554百万円となっております。この結果、売上高は1,509百万円、セグメント利益は225百万円となりました。

④建設事業

平成22年6月30日に多田建設株式会社を連結子会社としたことにより、新たに建設事業の売上高を計上しております。7月から9月まで3ヶ月間の売上高は2,529百万円、セグメント利益は58百万円となっております。

⑤ゴルフ場事業

米国のゴルフ場2社は、ゴルフ場資産の全てをゴルフ場運営会社に一括してリースしたことから、ゴルフ場事業から除外しており、株式会社平川カントリークラブのみを対象としております。この結果、売上高は307百万円、セグメント損失は32百万円となりました。

なお、営業外収入として名義書換料を計上しており、経常損益は黒字となっております。

⑥その他

引き続き、米国のゴルフ場2社はゴルフ場資産を全て一括して賃貸しております。日神ファイナンス株式会社は、新規融資を行っておらず、縮小均衡を目指しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 総資産

主に多田建設株式会社を連結子会社としたことにより、現金及び預金、完成工事未収入金、未成工事支出金等が増加したこと及び、新規の分譲用地仕入を強化したことにより、不動産事業支出金が増加した結果、総資産は54,737百万円（前連結会計年度末比26.3%増）となりました。

② 負債

総資産と同様に多田建設株式会社を連結子会社としたことにより、工事未払金、更生債権等が増加したこと及び、新規の分譲用地仕入に伴い借入金が増加した結果、負債合計は28,382百万円（前連結会計年度末比55.4%増）となりました。

③ 純資産

純利益の計上による利益剰余金の増加に伴い、純資産合計は26,355百万円（前連結会計年度末比5.1%増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

該当事項はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

【会計処理基準に関する事項の変更】

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

これにより第2四半期連結累計期間の財務諸表に与える影響は軽微であります。

「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」「連結財務諸表に関する会計基準」「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」「事業分離等に関する会計基準」「持分法に関する会計基準」「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」を適用しております。

【表示方法の変更】

(四半期連結貸借対照表関係)

前第2四半期連結累計期間において、流動資産「受取手形及び売掛金」、流動負債「支払手形及び買掛金」として表示していた科目について、多田建設株式会社を子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、それぞれ流動資産「受取手形・完成工事未収入金等」、流動負債「買掛金・工事未払金等」として表示することといたしました。

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,057,129	13,043,964
受取手形・完成工事未収入金等	3,176,866	389,586
有価証券	99,910	99,910
販売用不動産	2,874,455	5,178,049
不動産事業支出金	17,605,306	10,491,408
未成工事支出金	212,842	16,841
商品	3,613	8,199
短期貸付金	371,752	545,037
その他	1,036,776	740,335
貸倒引当金	△667,376	△3,429
流動資産合計	41,771,275	30,509,902
固定資産		
有形固定資産	9,727,342	9,615,117
無形固定資産		
のれん	587,086	645,795
その他	87,716	69,612
無形固定資産合計	674,803	715,407
投資その他の資産	2,564,538	2,500,183
固定資産合計	12,966,684	12,830,708
資産合計	54,737,960	43,340,610
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,443,631	1,241,755
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
短期借入金	8,524,035	7,315,737
未払法人税等	183,000	176,083
引当金		
賞与引当金	146,657	93,916
完成工事補償引当金	237,110	—
更生債権	1,077,612	—
その他	3,435,939	2,372,175
流動負債合計	16,061,987	11,213,668
固定負債		
社債	79,000	86,000
長期借入金	5,946,698	4,781,348
引当金		
退職給付引当金	1,362,605	471,816
役員退職慰労引当金	257,670	254,160
債務保証損失引当金	480,157	467,485
更生債権	3,197,244	—
その他	996,976	990,561
固定負債合計	12,320,353	7,051,371
負債合計	28,382,340	18,265,039

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,111,411	10,111,411
資本剰余金	426,578	426,578
利益剰余金	16,313,056	14,912,883
自己株式	△24,549	△24,466
株主資本合計	26,826,497	25,426,406
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△553	10,612
為替換算調整勘定	△538,286	△441,008
評価・換算差額等合計	△538,840	△430,395
少数株主持分	67,963	79,560
純資産合計	26,355,619	25,075,571
負債純資産合計	54,737,960	43,340,610

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	16,081,295	13,464,950
売上原価	12,801,693	10,382,299
売上総利益	3,279,602	3,082,651
販売費及び一般管理費	3,026,485	2,900,750
営業利益	253,116	181,901
営業外収益		
受取利息	12,054	8,392
受取配当金	2,888	3,264
名義書換手数料	38,000	40,900
持分法による投資利益	18,984	—
その他	70,541	84,914
営業外収益合計	142,468	137,471
営業外費用		
支払利息	159,609	154,021
その他	2,979	2,384
営業外費用合計	162,589	156,406
経常利益	232,996	162,966
特別利益		
固定資産売却益	5,204	—
貸倒引当金戻入額	1,092	38,939
債務保証損失引当金戻入額	1,956	4,615
負ののれん発生益	—	1,423,926
その他	0	81,974
特別利益合計	8,253	1,549,455
特別損失		
減損損失	—	21,550
投資有価証券評価損	—	17,446
出資金評価損	1,500	—
その他	303	10,957
特別損失合計	1,803	49,954
税金等調整前四半期純利益	239,446	1,662,467
法人税、住民税及び事業税	133,049	165,893
法人税等調整額	△4,229	△11,204
法人税等合計	128,819	154,689
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,507,778
少数株主損失(△)	△7,265	△9,665
四半期純利益	117,891	1,517,443

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	239,446	1,662,467
減価償却費	126,693	125,093
減損損失	—	21,550
負ののれん発生益	—	△1,423,926
のれん償却額	58,708	58,708
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34,754	△28,878
受取利息及び受取配当金	△14,942	△11,656
支払利息	159,609	153,420
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	17,446
売上債権の増減額 (△は増加)	652,292	344,318
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7,290,540	△1,422,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,207,724	755,828
その他	△683,662	771,251
小計	4,586,206	1,022,980
利息及び配当金の受取額	13,252	11,583
利息の支払額	△140,561	△161,098
法人税等の支払額	△133,592	△165,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,325,304	707,744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△61,500
有価証券の売却による収入	200,000	—
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
関係会社株式の取得による支出	△105,500	—
関係会社株式の売却による収入	124,484	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	3,030,031
短期貸付けによる支出	—	△4,382
貸付金の回収による収入	2,400	4,386
有形及び無形固定資産の取得による支出	△11,262	△50,507
有形及び無形固定資産の売却による収入	23,052	—
定期預金の預入による支出	△8,510,000	△14,370,000
定期預金の払戻による収入	9,720,000	10,650,000
その他の支出	△226,937	△26,256
その他の収入	52,529	38,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,258,766	△789,915

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	799,028	1,366,191
短期借入金の返済による支出	△2,255	△680,300
長期借入れによる収入	4,176,000	3,262,712
長期借入金の返済による支出	△9,275,004	△1,531,998
社債の償還による支出	—	△7,000
短期更生債権の返済による支出	—	△665,945
長期更生債権の返済による支出	—	△1,165,697
自己株式の取得による支出	△92	△82
配当金の支払額	△117,994	△117,006
その他	△36,930	△85,528
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,457,248	375,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,073	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,124,749	293,164
現金及び現金同等物の期首残高	5,484,157	7,493,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,608,906	7,787,129

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位：千円)

	不動産事業	建設事業	信用保証業	ゴルフ場事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	15,210,664	368,691	50,357	451,583	16,081,295	—	16,081,295
(2) セグメント間の内部売上高	6,233	2,645	—	—	8,879	△8,879	—
計	15,216,897	371,337	50,357	451,583	16,090,175	△8,879	16,081,295
営業利益又は営業損失(△)	385,525	26,032	△27,802	△132,160	251,594	1,521	253,116

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、市場における類似性により区分しております。

2. 各事業区分に属する主要内容

- (1) 不動産事業 マンションの販売、不動産の賃貸、仲介、不動産管理等を行っております。
- (2) 建設事業 住宅のリフォーム及び営繕等を行っております。
- (3) 信用保証業 マンションの購入者の一部に対してローンの保証及び住宅資金の貸付を行っております。
- (4) ゴルフ場事業 ゴルフ場の運営を行っております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務報告が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、マンション分譲を行う不動産事業、建設工事の企画、設計、監理及び施行を行う建設事業、マンションの管理やそれに伴う大規模修繕工事を行う不動産管理事業、賃貸仲介や賃貸管理及びリフォームを行う賃貸管理事業、ゴルフ場事業を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1.	連結
	不動産事業	建設事業 (注) 2.	不動産 管理事業	賃貸 管理事業	ゴルフ場 事業	計		
売上高								
外部顧客に 対する売上高	7,578,181	2,529,670	1,467,785	1,509,247	307,891	13,392,776	72,174	13,464,950
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	37,120	836,117	22,501	17,129	—	912,870	409	913,279
計	7,615,302	3,365,788	1,490,287	1,526,377	307,891	14,305,646	72,584	14,378,230
セグメント利益 又は損失(△)	△113,418	58,967	158,372	225,912	△32,378	297,456	△59,549	237,907

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸ゴルフ場事業、信用保証業を含んでおります。

2. 多田建設株式会社は、第1四半期連結会計期間末日に子会社となっているため、建設事業セグメントには、同社の当第2四半期連結会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)の売上高及びセグメント利益を記載しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	297,456
「その他」の区分の損失(△)	△59,549
セグメント間取引消去	2,313
のれんの償却額	△58,708
その他の調整額	389
四半期連結損益計算書の営業利益	181,901

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。